

## GIGAスクール構想

子どもたちに**1人1台のタブレット端末**を貸与し  
学校における**高速大容量のネット環境**を整備

タブレット端末を鉛筆やノートと並ぶ  
「**新しい文房具**」として、日常的に活用

協働学習や個別学習の充実  
アクティブラーニングによる**学び**  
社会とつながる  
協働的・探究的な**学び**

これまでの  
教育実践

×

ICT

=

決められた教室・学年の中  
で同じ内容を同じペースで  
みんなと一緒に学ぶ

変化

場所や学年、時間にかかわらず自分の目標  
に合わせ、それぞれの学びをそれぞれのペース  
で、時には個別に、時にはみんなで協力して  
学ぶ

一人一人の考えを同時に  
一画面に映し出してみんな  
で共有。共同編集で、  
リアルタイムに考えを共有  
しながら、グループで  
資料を作成できます。



インターネットでの情報収集や、  
写真・動画による記録を行い、  
デジタルによる資料・作品の制作  
を行うことができます。

プログラミング教育において、  
アプリを使う等して  
プログラミング的に考え  
たり、プログラムの働きや  
良さに気づくことができます。



アンケートや学校だより等の学校  
からの配付物をデジタルで受け  
取り、オンラインで回答・提出が  
可能になります。

音声入力機能や翻訳ソフトを  
使って、感想文を作成したり、  
英語のスピーキング練習を行  
います。

学習ドリルやアプリ、授業  
動画等の活用により、  
自分の学習状況や進度に  
合った問題に取り組むこ  
とができます。



病気や入院等、様々な事情に  
よって通学が困難になった場  
合であっても、学習に参加したり  
交流することができます。

# Google Workspace for Education

## ◆Googleドキュメント、Googleスプレッドシート、Googleスライド



それぞれ、文書作成ツール、表計算ツール、プレゼンテーション作成ツールであり、Microsoft社のWord、Excel、PowerPointのGoogleバージョン。いずれもリアルタイムにて複数人による同時編集が可能。

▶ 配付プリントやレポートの作成、データ整理とグラフ化、授業スライドや発表資料等の作成



## ◆Googleフォーム



インターネット上でアンケートや投票、テスト等が行えるツール。回答を回収すると、自動的に集計される機能も搭載している。

▶ 授業の理解度確認のための小テスト、出席確認、授業後アンケート



## ◆Google Jamboard(ジャンボード)



リアルタイムでの同時編集ができるインターネット上のホワイトボード。手書きでの文字・図の入力や付箋の貼付け等が可能。

▶ グループ学習時のブレインストーミング



## ◆Google Meet



離れた位置にいる教師と児童生徒をつなぐビデオ会議アプリ。世界中の人々とコミュニケーションを図ることができる。

▶ 臨時休業時等における双方向型のオンライン授業の実施



## ◆Googleドライブ



無制限に保存できるオンラインストレージサービス。フォルダやファイルごとに他のユーザーとの閲覧や編集を許可できる。

▶ 文書・写真・動画等の保存、他のユーザーへのデータの共有



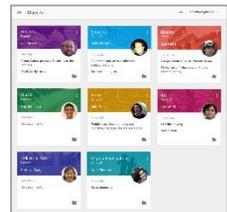
## ◆Google Classroom



目的に応じたクラスが作成でき、課題の投稿・採点・返却、教材や資料の共有、連絡事項の発信、チャット等を1か所で行うことができるツール。

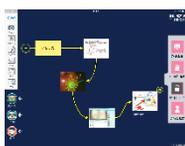
Classroomを通じて、フォームで作成したアンケートやMeetのリンクへのアクセスが可能。

▶ Google Workspace for Education の各種サービスを活用する学習支援の起点となります。



## その他の学習アプリについて

### ◆ロイロノートスクール



たとえば、児童生徒は、先生の質問にこたえる際、自分で撮ったり書いたりしたテキスト、写真、動画、図や、Webで調べた資料、地図等をそえて伝えることができます。一方、先生は、一つひとつの質問について児童生徒全員の反応を確認することができます。



▶ 児童生徒と先生のコミュニケーションを活性化させ、『21世紀型スキル』と呼ばれる思考力、判断力、表現力を育みます。

### ◆ベネッセドリルパーク



1問1問、身に付けたい力や解き方に合った、最適な解答パターンの出題。間違えた問題もピックアップして解き直せるので、つまずきを残さず、効果的に学力を伸ばせます。

▶ 子供一人ひとりの習熟度に合わせて効果的な学習が可能です。





# Q & A

question & Answer



## Q 「GIGAスクール構想」って何ですか？

**A** 文部科学省の造語で、「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字を取って「GIGA」です。直訳すると「全ての人にグローバルで革新的な入り口を」となり、「全ての子どもたちが、国や地域の制約を受けずに、社会に新しい価値を生み出せる人材になるための教育」という意味合いです。

全国の児童生徒向けの**1人1台端末**と、学校における高速大容量のネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを**誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化**され、資質・能力が一層確実に育成できる教育を実現させる構想です。

## Q どんな端末が配られますか？

**A** 端末はChromebook(クロームブック)といって、OS(オペレーティングシステム)は**Google社のChromeOS**になります。大きさは画面サイズ11.6インチ、CPU: Intel Celeron N4020、メモリ4GB、ストレージは32GB、重さは約1.3キロくらいあります。

キーボードを360度回転してタブレットのようにして画面にタッチして使ったり、**前面・背面にカメラ**があり、Web会議を行ったり、QRコードを読み取ったりすることができます。

## Q 学習用端末であるChromebookはもらえますか？

**A** 端末は無償で貸し出しをします。但し、家庭に持ち帰った場合の充電に係る電気代や、家庭のネットワークや携帯でテザリングを行ってWi-Fiに接続した場合の**通信費はご家庭での負担**となります。

## Q ICTは学校での学習で、どのように活用するのですか？

**A** 学校における1人1台端末等のICT活用により充実する学習例として以下のような学びがあります。

### <調べ学習>

課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を**主体的に収集・整理・分析**

### <表現・制作>

**推敲しながらの長文の作成**や、写真・音声・動画等を用いた様々な**資料・作品の制作**

### <情報モラル教育>

実際に情報・情報技術を活用する場面(収集・発信等)が増えることにより、**情報モラルを意識する機会の増加**

## Q 子どもが不適切なサイトにアクセスしたり、「SNS」等を使って犯罪に巻き込まれたりしないか心配です

**A** 学習用端末であるChromebookには、子どもが安心して使えるように**フィルタリングソフトで不適切なサイトへのアクセスを制限**し、当該サイトにアクセスした場合は**ログが残る**ような管理を行っています。ChromebookのOSの中にウイルス感染を防ぐ**ウイルス対策機能(検知・駆除)**が搭載されています。また学習に不要な機能については、**管理ツールにより使用制限**をかけています。

## Q GIGAスクールでは子ども達のどのような個人情報を収集しているのですか？

**A** 使うアプリケーションによりますが、**本人確認を正確に行うことを目的**に、児童生徒のアカウントを作成する際に、氏名、学校名+学年+組+出席番号、Google アカウント名、パスワード等の個人情報を収集しています。また「個別最適化された学習」の実現として、学習ログ(理解度や間違えた問題等)を収集します。その他には各種サービスを利用する際、そのサービスの使用状況に基づいて下記の情報も収集し、例えば端末を失くしてしまった時等に**追跡できる**ようにしています。

- ・端末情報・ログ情報・位置情報・アプリケーション情報
- ・Cookie 等による端末等に関する情報 等

## Q オンライン授業や分散登校はありますか？

**A** Google Workspace for Educationの各種サービス等を組み合わせることで、これまでは実施することが難しかった学習に取り組むことができます。

新型コロナウイルス感染症や自然災害等による学校の臨時休業等の緊急時においても、**子どもたちの学びを継続させるためのツール**として、またWeb会議システム等を通して子ども達と**オンライン朝礼・終礼**も実施することができます。

## Q 自分の手で書いて覚えることや、教科書や本を読んで調べることも必要では？

**A** 学校での学習全てにICT機器を活用するわけではありません。インターネットだけではなく、**本や図鑑、辞書等で調べる**ことや、**実物をよく観察してその様子を鉛筆で書く**活動も大切です。

これからの学校の学習では、従来の学習方法とICT機器を活用した学習の**それぞれの良さをいかしていくことが大切**です。学校の授業では、どの場面でも端末を使うと効果的なのか、見通しをもって計画的に進める必要があると考えています。



# Q & A

question & Answer



Q

タッチペンは使えますか？

A ドリルや漢字練習等で、ご家庭のスマホやタブレットでお使いのタッチペンを使うことができます。静電容量式タッチペンは充電等が不要で、マルチタッチが行えます。タッチペンはいわゆる100円均一ショップでも販売されています。



- A. シリコンゴムタイプ
- B. 導電繊維タイプ
- C. クリアディスク型ペンタイプ



※専用のペンでないと感知しないデジタイザーペン、USI (Universal Stylus Initiative) 方式、EMR方式 (電磁誘導タイプ)、AES方式 (アクティブ静電結合) 等は**お使いいただけませんのでご注意ください。**

Q

傷がつかないようにディスプレイに保護フィルムを貼ってもいいでしょうか？

A はい、構いません。体育の授業や課外活動等でカメラ撮影を行う場合**物が当たったり、擦ってしまう**可能性があります。保護フィルムを貼っておくと、**ひび割れにくく、傷もつきにくい**ため、特に**低学年のお子様や、今回初めてChromebookを使う場合は慣れるまで保護フィルムを貼っておくと安心して使うことができます。**



※修理に出すときや学習者用端末の返却時には必ずご自身で保護フィルムを剥がしてお戻しください。

Q

子どもがChromebookでゲームをしたり、アダルトサイトや娯楽動画視聴、オンラインショッピング等ができないように対策をとられていますか？

A 学習用端末Chromebookには、子どもが安心して使えるように、様々な対策を行っています。

学習用端末で使えるアプリはChromeWebストアやGooglePlay等から100万種類以上(無料のものが多い)のアプリがダウンロードできます。その中にはゲームアプリやSNS等もあります。

今回導入する学習用端末には、**教育利用に必要なアプリだけが予め使える**ようになっており、**子どもたちでアプリの追加・削除はできない**ようになっています。同様に**オンラインショッピング等ストアアプリも利用できない**ように制限がかかっています。



またインターネット利用にあたり、アダルトサイトや暴力・犯罪に関するサイト等**不適切なWebサイトにフィルタリング(セーフサーチ)**もかけています。



ご家庭の端末でICTを使った学習等を実施する場合は端末の利用時間や内容等、**ICTを適度&適切に利用するルールを家族で話し合っ**て決めることが重要です。

ICTの活用が日常的となるこれからの社会においては、**自らの力で節度をもってインターネットや端末機器を活用し、情報社会を安心・安全に**生き抜くための能力や態度を持った子どもたちの育成が求められています。

